



京都国際学生の家

Haus der Begegnung (HdB)

第6回市民公開講演会 入場無料

日時：2024年6月29日（土）13:00～16:25

場所：京都教育文化センター103号室

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13 TEL. 075-771-4221

HdBは1965年より59年間、外国人学生と日本人学生の出会いの家として活動してきました。その歴史と現在の活動状況、未来への展望を卒業生と在寮生との講演で紹介させていただきます。

開会の辞

13:00～13:10 内海 博司（理事長、京都大学名誉教授）

第I部 HdBで育った先輩達

13:10～14:00 すべてはスーダンから始まった

- 途上国の保健医療にたずさわって -
大菅 克知（医師）

14:00～14:50 From Mario to Siebold: How Japanese Video Games Culture Guided Me to Kyoto : マリオからシーボルトへ

- 日本ゲームカルチャーの京都への導き -
ヴァンオメン・マティアス（同志社大学社会学部社会学科助教）

第II部 HdBの過去、現在、未来

15:00～15:45 外国人学生及び日本人学生から
中野瑛理香、Nguyễn Bích Ngọc、野村洸太

15:45～16:15 京都国際学生の家(HdB)在寮記
川野家稔（OM1期生、元日立製作所
・情報通信事業部副技師長）

閉会の辞

16:15～16:25 吉村 一良
（理事、京都大学名誉教授）

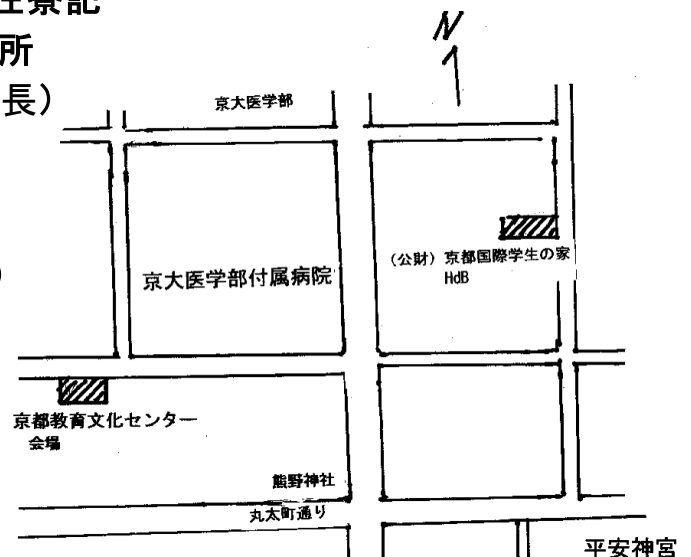
参加：来聴歓迎。どなたでも参加できます。

主催：公益財団法人 京都国際学生の家

後援：京都新聞

連絡先：（公財）京都国際学生の家
京都市左京区聖護院東町10
電話/FAX：075-771-3648

ホームページ：<http://hdbkyoto.jp/>



大菅 克知（医師）「すべてはスーダンから始まった - 途上国の保健医療にたずさわって-」

要旨：40年前(1984)にハウスに入寮した夏、たまたまスーダンに医療事情の見学に行った私は、日本で学んでいた医学とのギャップに驚くと同時に、途上国の医療に大きな関心を抱き始めました。大学卒業後は感染症を学べる職場を渡り歩き、熱帯医学のメッカであるロンドン熱帯医学校で学んだ後は、エイズ・結核を中心に17年間途上国に住み、感染症の治療と予防に従事いたしました。本講演会では、ハウス時代に刺激を受けた一卒業生が、その後どんな人生を歩んできたかをお話したいと思います。

略歴：1986年京都府立医科大学卒、都立駒込病院内科勤務。1989年東大医科学研究所感染免疫内科勤務。1991年ロンドン大学熱帯医学修士。1992年WHOエイズ世界戦略(南太平洋：フィジー)。1996年JICA結核対策プロジェクト(ネパール)。2000年結核研究所国際協力部。2008年WHO結核ハンセン病対策(西太平洋地域：フィリピン、ベトナム、カンボジア)。2018年よりは在宅医療(東京、茨城)に従事。

ヴァンオメン・マティアス（同志社大学社会学部社会学科助教）「From Mario to Siebold: How Japanese Video Games Culture Guided Me to Kyoto: マリオからシーボルトへ - 日本ゲームカルチャーの京都への導き」

要旨：本講演では、私が日本文化、ビデオゲーム、文化人類学を結びつけることとなった偶然の出会いが研究にどのように影響をしたかを振り返ります。オランダで生まれ育ったので、日本の大衆文化に触れる機会、またオランダと日本の長い歴史的関係を知ることができました。この興味を京都での交流を通して培い、現地の言葉で現地の文化を理解することを大事にする「エスノグラフィー」という手法を初めて行いました。この手法をビデオゲームのコミュニティに当てはめ、ゲームをする人とならない人の間の理解を深める一助になればと考えています。

略歴：オランダ、ユトレヒト州、ハウテン市出身。2010年ライデン大学日本学科卒業、在学中、京都大学に留学し、HdBに滞在した経験がある。2020年ハワイ大学マノア校文化人類学博士課程取得。その後ハーバード大学ライシャワー日本研究所にてポスドク研究員として在籍。2021年秋に同志社大学社会学部社会学科助教就任、現在に至る。

中野 瑛理香（日本、京都産業大学、理学部・宇宙物理・気象学科、4回生）「虹色が教えてくれる宇宙のこと (The space taught by rainbow)」

一般の方にもお喜びいただけるような「虹色」を選び、宇宙論的発表を行います。

Nguyễn Bích Ngọc（ベトナム、京都大学(2024年4月-9月)、SOKENDAI-Research Institute for Humanity and Nature(RIHN)、2024年10月～）「私達の生態系 (Our Ecosystem)」

自分の周りを取り巻く環境を考えよう、と聴衆を巻き込むようなアクティビティを含んだ発表です。

野村 洸太（日本、京都大学、経済学部、3回生）「初心者のためのDJ入門 (A beginner's guide to DJing)」

HdB寮生がすべて自分達で作りに上げたダンスパーティーで、DJとして活躍。当日もDJを披露する。

川野 家稔（OM1期生、元日立製作所）「京都国際学生の家(HdB)在寮記」

要旨：HdB設立初年度に入寮させて頂きました。設立に係わる経緯、当時の生活、学んだこと、その後のお付き合いなどを紹介させていただきます。

略歴：1941年生、1964年京都大学電気工学科卒業。1965年より1年間京都国際学生の家(在寮)。1966年日立製作所へ入社、情報通信事業部副技師長。The Marquis Who's Who in the World 1982/1983 (6th edition)。